

米国産一般流通用生鮮ばれいしょ 輸入検疫協議 関連資料

令和8年8月

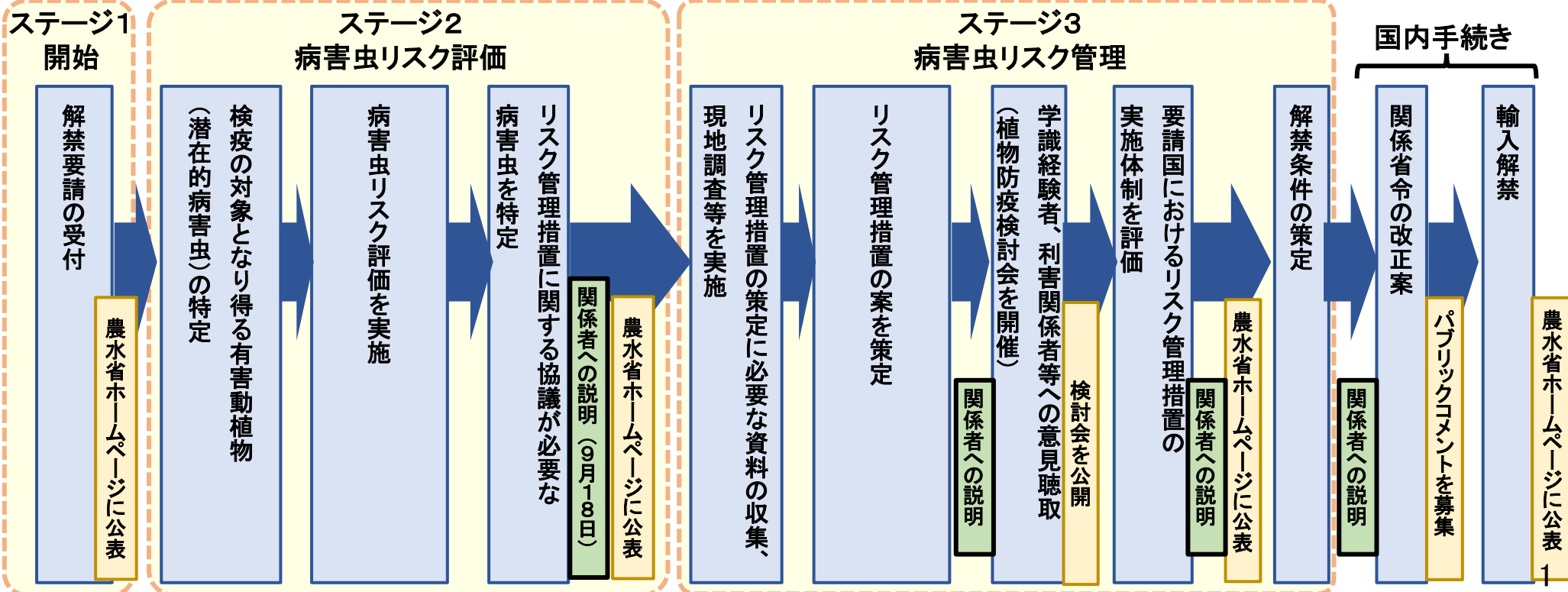
農林水産省

米国産生鮮ばれいしょの解禁要請に係る経緯

- かねてから米国は、米国産生鮮ばれいしょに対する日本の輸入禁止措置の解除を要請。
- ポテトチップ加工用に用途を限定し、閉鎖系によるリスク管理措置を条件として協議した結果、2006年に解禁。
- 2020年に米国側から一般流通用として改めて輸入解禁要請。

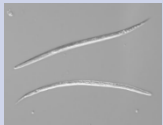
【標準的手続上の進捗】

現在実施中



米国とリスク管理措置の協議を行う必要がある病害虫(21種)(案)

- リスク評価の結果に基づき、リスク管理措置の協議を行う必要がある病害虫として21種を特定。

病害虫名	特性
コロラドハムシ  ※出典：EPP0	・主に葉を加害する。
ジュウイチホシウリハムシ  ※出典：EPP0	・主に幼虫が塊茎を摂食する可能性がある。 ・成虫は風に乗って長距離移動することが可能。
シロヘリクチブトゾウムシ <i>Epitrix cucumeris</i> <i>Epitrix subcrinita</i> <i>Epitrix tuberis</i> } (ハムシ科) <i>Otiorhynchus cribricollis</i> (ゾウムシ科)  ※出典：EPP0	・主に幼虫が塊茎を摂食する可能性がある。 ・長距離移動は行わない。
ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ  ※出典：USDA	・虫体前部を植物体に挿入して寄生し定着。 ・シストの状態で長期間生存可能。
コロンビアネコブセンチュウ バナナネモグリセンチュウ <i>Meloidogyne enterolobii</i> (センチュウ)  ※出典：植物防疫所	・植物組織内に入り込み摂食。 ・摂食された部分は壊疽等が発生する。
ブドウオオハリセンチュウ <i>Belonolaimus longicaudatus</i> (センチュウ)  ※出典：CABI	・植物組織を外部から摂食。 ・摂食された部分は壊疽等が発生する。
<i>Polyscytalum pustulans</i> (菌類)  ※出典：EPP0	・土壌伝染のほか、貯蔵庫内で分散する。 ・貯蔵開始から1～2か月後に症状が出ることもある。
<i>Candidatus Liberibacter solanacearum</i> (細菌)  ※出典：EPP0	・虫媒伝染により分散する。
<i>Candidatus Phytoplasma trifolii</i> (ファイトプラズマ) <i>Candidatus Phytoplasma americanum</i> (ファイトプラズマ) 	・虫媒伝染により分散する。
Pepino mosaic virus(ウイルス) Potato yellow dwarf virus(ウイルス) Potato spindle tuber viroid(ウイロイド)  ※出典：植物防疫所	・虫媒伝染、接触伝染、種子伝染等により分散する。